

無停電電源装置保守点検業務特記仕様書

1 業務の目的

無停電電源装置の点検を定期的実施することにより、無停電電源装置を常に良好な状態に維持するとともに、障害発生時には速やかに臨時点検を実施の上、復旧対応を行うことにより、病院機能への影響を最小限に抑制する。

2 業務の対象

(1) 無停電電源装置（医療用）

数量 2台
製造者 富士電機株式会社
型式 UPS6000D-3/100
定格出力 100kVA210V
蓄電池型式 FVH-100-12
蓄電池容量 100Ah 30個

(2) 無停電電源装置（施設用）

数量 1台
製造者 富士電機株式会社
型式 UPS6000D-1/20
定格出力 15kVA100V
蓄電池型式 FVL-50-12
蓄電池容量 50Ah 32個

3 業務の内容

(1) 一般点検

一般点検は、年に1回実施する（2月頃）。

(2) 精密点検

精密点検は、年に1回実施する（8月頃）。

(3) 臨時点検

業務対象機器に障害が発生した場合は、速やかに現地調査を行い、障害の復旧対応を行う。

4 特記事項

(1) 点検内容

点検の実施に当たっては、無停電電源装置の製造者の立会いの下、無停電電源装置の機能を維持するために必要な点検について、別表のとおり実施すること。

(2) 点検報告書

点検終了後、速やかに点検内容を記した点検報告書を提出すること。

(3) 停電作業に伴う立会い

電源系統の工事、点検等に伴う停電作業の際には、発注者の要請に基づき、無停電電源装置の製造者による立会いを行うこと。

別表

点検項目	点検要領	点検種別	
		一般	精密
環境確認	運転状況、温度、塵埃、換気等の環境の確認を行い、UPSの使用環境の良否を判定する。	○	○
外観構造検査	①部品類の変色、過熱、変形、実装状態を確認する。 ②状態表示、異音、ファン運転（冷却状態）を確認し、全般の状態良否を判定する。 ③清掃を実施し、UPSの故障を未然に防ぐ。	○	○
静特性試験	精密計器により測定するとともに、初期値との比較にて規格外や経年変化の有無を判断し、必要な調整及び補正を行う。（入力電圧、電流、直送電圧、遠方電圧）	○	○
出力周波数測定	精密計器により測定するとともに、初期値との比較にて規格外や経年変化の有無を判断し、必要な調整及び補正を行う。	○	○
制御電源電圧測定	入力・出力の特性、出力リップルを測定し、規格外や寿命劣化の判定をする。（電解コンデンサ等）		○
充電電圧測定	バッテリー充電の総電圧を測定するとともに、充電過不足を判定し、必要により調整を行う。	○	○
バッテリー点検	①外観（電槽の欠損、損傷、液漏れ、接続部の腐食）を検査し、今後の使用可否を判断する。 ②セル毎の電圧等を測定し、寿命及び劣化を判定する。	○	○
稼働時間確認	運転時間と有寿命部品（メーカーの部品交換基準）により交換時期（年度）管理データの蓄積を行う。	○	○
波形測定	①入出力の電圧電流を測定し、整流器及びインバータの動作を判定する。 ②ピーク負荷電流に対する負荷率の良否を判断する。		○
設定値の確認	各機器、部品類について切替位置、目盛、点灯状況、指示値等を確認し、良否判定を行う。		○
予備品確認	不具合発生時に使用可能な予備品の員数検査及び外観検査を行う。		○
B S C 診断	蓄電池の短時間放電試験を行い、蓄電池の劣化状況を診断する。	○	